

令和3年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書

令和4年9月

三重県監査委員

監 査 第 3 0 号
令和 4 年 9 月 1 日

三重県知事 一 見 勝 之 様

三重県監査委員 伊 藤 隆
三重県監査委員 東 豊
三重県監査委員 廣 耕太郎
三重県監査委員 内 田 典 夫

令和 3 年度企業会計決算の審査について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき令和 4 年 5 月 31 日付け総務第 07-32 号
で審査に付されたこのことについて、別添のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審 査 の 概 要	1
1	審 査 の 対 象	1
2	審査の着眼点及び実施内容	1
第2	審 査 の 結 果 及 び 意 見	2
1	審 査 の 結 果	2
2	審 査 の 意 見	2
第3	経 営 の 概 要	7
1	事 業 の 概 況	7
2	患 者 数 の 状 況	7
3	決 算 の 状 況	8
第4	病 院 別 の 状 況	18
1	こころの医療センター	18
2	一 志 病 院	22
3	志 摩 病 院	26
第5	決 算 諸 表	32

令和3年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査意見書

第1 審査の概要

三重県監査委員監査基準（令和2年4月1日施行）に準拠し、次のとおり令和3年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査を実施した。

1 審査の対象

令和3年度 三重県病院事業会計

2 審査の着眼点及び実施内容

令和3年度三重県病院事業会計の決算審査は、知事から審査に付された決算書の内容について、

- (1) 決算の計数は正確であるか
- (2) 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- (3) 予算は、計画的かつ効率的に執行されているか
- (4) 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行った。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

三重県病院事業庁が経営している病院事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、病院事業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められる。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に処理されているものと認められる。

2 審査の意見

(1) 令和3年度決算と次期中期経営計画の策定について

令和3年度病院事業会計については、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の影響で、入院患者数が減少したことにより医業収益は減少したが、指定管理者に対する交付金等の経費が減少したことにより医業費用も減少したため、医業損益は前年度に比べ約8,507万円改善し、また、感染患者受入れのための病床確保に伴う国からの交付金等により一般会計繰入金が増加したため、収益的収支は約9億6,682万円の黒字となった。そのため未処理欠損金（累積欠損金）は減少したが、依然として約78億円と多額である。

「三重県病院事業 中期経営計画（平成29年度～令和2年度）」については、令和3年度は計画期間を1年間延長し単年度計画としたが、その成果目標の達成状況は前年度より改善したものの未達成項目が多くある。また、令和4年度も引き続き、単年度計画として策定しているが、令和4年3月に国から「公立病院経営強化ガイドライン」が示され、地域医療構想等との整合を図りながら5年度末までに「公立病院経営強化プラン」（次期中期経営計画）を策定することが求められている。

このため、今後起こりうる新興感染症の感染拡大等にも備えながら計画の目標達成に向けて取り組み、医業収益の確保を図るなど健全な経営に努められたい。また、各病院を取り巻く環境や求められる医療ニーズを踏まえて、各病院が果たすべき役割・機能を見直し明確化・最適化するなど、経営強化の取組が進むよう、次期中期経営計画の策定の検討を進められたい。

なお、令和3年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりである。

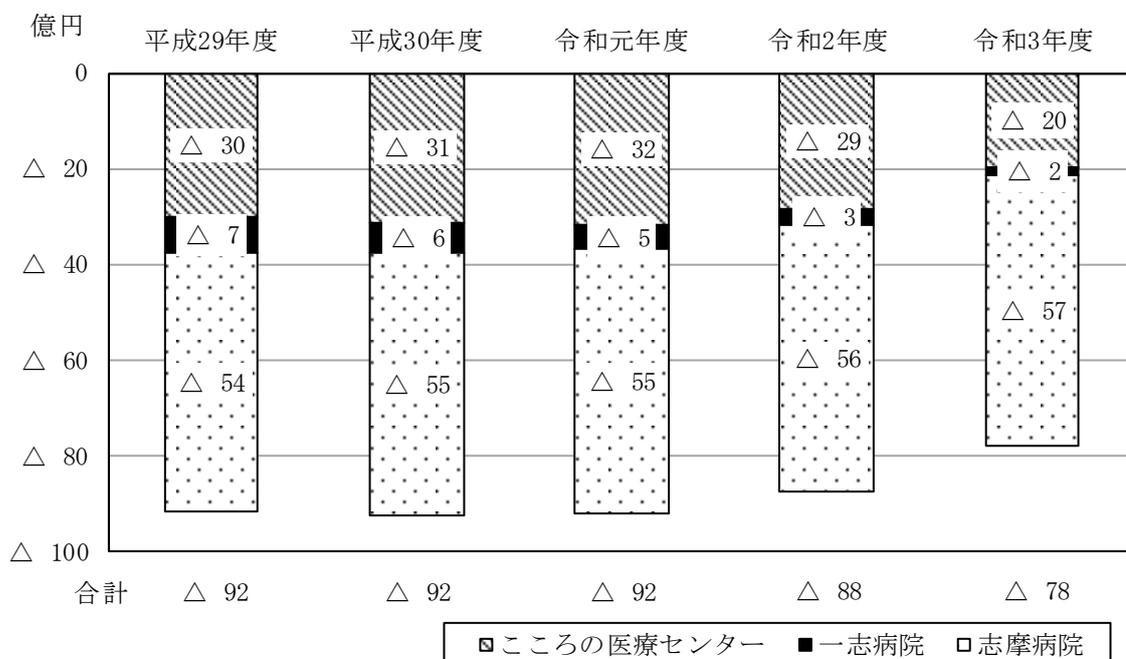
収益的収支の状況

(単位：円)

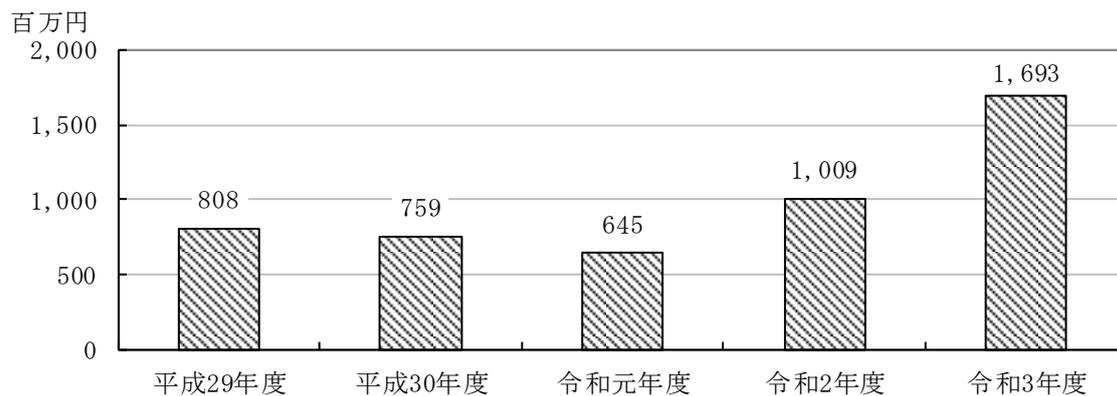
病院名等	区分	令和3年度	令和2年度	比較増減
こころの医療センター	医業損益	△ 1,376,199,692	△ 1,258,561,760	△ 117,637,932
	経常損益	879,198,326	335,704,793	543,493,533
	純損益	879,198,326	335,704,793	543,493,533
一志病院	医業損益	△ 227,728,855	△ 202,245,120	△ 25,483,735
	経常損益	156,411,678	177,722,432	△ 21,310,754
	純損益	156,411,678	177,722,432	△ 21,310,754
志摩病院	医業損益	△ 919,694,644	△ 1,145,100,257	225,405,613
	経常損益	△ 68,790,054	△ 72,512,610	3,722,556
	純損益	△ 68,790,054	△ 72,512,610	3,722,556
県立病院課	医業損益	△ 95,945,662	△ 98,734,663	2,789,001
合計	医業損益	△ 2,619,568,853	△ 2,704,641,800	85,072,947
	経常損益	966,819,950	440,914,615	525,905,335
	純損益	966,819,950	440,914,615	525,905,335

(注) 医業損益は、医業収益から医業費用を差し引いたもの。経常損益は、医業損益に医業外収益を加えて医業外費用を差し引いたもの。純損益は、経常損益に特別利益を加えて特別損失を差し引いたもの。なお、志摩病院は指定管理者の収支を含んでいない。

各年度未処理欠損金（累積欠損金）の推移



内部留保資金の推移



(注) 流動資産から流動負債（企業債を除く）を差し引いたもので、資金繰りの状況を示す数値。
資金不足比率の算出方法に基づき算出している。

ア こころの医療センター

前年度に引き続き、新型コロナの影響により入院患者数が減少したため、医業収益は減少したが、感染患者受入れのための病床確保に伴う国からの交付金等により、一般会計繰入金約6億2,388万円増加したことなどから、収益的収支は、前年度に比べ約5億4,349万円改善し、2年連続となる約8億7,920万円の黒字となった。

平成30年度から進めている経営改善プロジェクトについては、地域の医療・福祉施設等との連携による長期入院患者の地域移行や、初診患者枠拡大による患者の受入れ強化等の成果が出ていることから、感染拡大の状況も踏まえ、引き続き、経営改善に努められたい。

また、今後も精神科医療の中核病院として、精神科救急・急性期医療及び認知症治療、依存症治療等の専門的医療を提供するとともに、「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という精神科医療の方向性を踏まえ、多様な医療ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供に努められたい。

イ 一志病院

前年度に引き続き、新型コロナの影響による入院・外来患者数の減少により医業収益が減少したことなどから、収益的収支は、前年度に比べ約2,131万円悪化したものの、平成25年度から9年連続となる約1億5,641万円の黒字となった。

今後も、公立病院の役割として新型コロナに係る検査等にも対応しながら、入院・外来患者数の確保や訪問診療等の在宅療養支援、住民健診等の予防医療の取組を通じて収益の増加を図るなど、引き続き、健全な経営に努められたい。

また、地域の過疎化、高齢化が進み、住民の医療ニーズがより一層高まっている中、総合診療医やプライマリ・ケアを担う人材育成に取り組むとともに、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践に取り組むなど、引き続き、地域に最適な医療サービスの安定的な提供に努められたい。

ウ 志摩病院

志摩病院では平成24年度以降、指定管理者制度により病院経営を行っている。

前年度に引き続き、新型コロナ対策として専用病床の確保、検査及びワクチン接種の実施等に対応しつつ、地域のニーズに応じた診療機能の充実強化、医師の確保等に取り組んでおり、内科系救急における24時間365日の受入れ、小児科や外科系における救急受入体制の一部回復など診療機能を充実させているが、一部診療科では医師の配置が進んでいない。

そうした中、令和4年度からの第2期指定管理期間に向けて新たに締結した「三重県立志摩病院の管理運営に関する基本協定」（以下「基本協定」という。）では、これまでの経常収支全体の支援策に代え、経営努力によってもなお不採算となる特定診療科に係る支援策である地域医療確保交付金制度を創設するとともに、県内の診療機能

の集約化・拠点化の状況を踏まえ必要な診療機能を確保するなど、良質で満足度の高い医療を安定的・継続的に提供することを求めている。

このような状況を踏まえ、新たな基本協定に基づき、志摩地域の中核的な医療機関として安定的・継続的な医療が提供できるよう、指定管理者と十分な連携を図り、二次救急医療の充実、診療機能の強化及び医師の確保等に取り組むとともに、経営改善が着実に進められるよう指定管理者に対する指導や支援を行われたい。

(2) 未収金の回収と発生防止について

令和3年度末における病院事業庁全体の診療費自己負担金の過年度未収金は、前年度に比べて約415万円減少し、約5,364万円となっている。

令和3年度については、電話督促、催告書等の送付及び臨戸訪問を行い、回収困難案件については弁護士法人に回収委託を行うなどにより、約542万円の過年度未収金を回収しているところであるが、引き続き、早期回収に向けての取組を進められたい。

また、高額療養費制度等の各種福祉制度の申請支援などの取組により、新規の発生額は4年続けて減少したが、令和3年度も約317万円発生しているため、引き続き、未収金の発生防止に取り組まれたい。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：件、千円)

病 院 名	令和3年度末(A)		令和2年度末(B)		比較増減 (A)-(B)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
こころの医療センター	257	39,432	296	42,572	△ 39	△ 3,140
一 志 病 院	20	1,039	17	1,081	3	△ 42
志 摩 病 院	108	13,172	113	14,143	△ 5	△ 971
合 計	385	53,643	426	57,796	△ 41	△ 4,153

(注) 1 志摩病院分は、指定管理者による運営に移行する以前の未収金（平成24年3月31日までに発生したもの）であり、本庁（県立病院課）が所管している。

2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

未収金増減の内訳

(単位：千円)

病院名	令和3年度				令和2年度				比較増減		
	新規発生 (A)	回収 (B)	不納欠損 (C)	計 (A-B-C)	新規発生 (a)	回収 (b)	不納欠損 (c)	計 (a-b-c)	新規発生 (A-a)	回収 (B-b)	不納欠損 (C-c)
こころの医療センター	2,901	4,146	1,896	△3,140	2,709	5,920	1,215	△4,426	192	△1,774	680
一志病院	266	308	0	△42	466	141	0	325	△200	167	0
志摩病院	0	970	0	△970	0	1,170	172	△1,342	0	△200	△172
合 計	3,168	5,425	1,896	△4,153	3,176	7,231	1,387	△5,443	△8	△1,807	509

(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

第3 経営の概要

1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営してきたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人に移行したことから3病院になったほか、志摩病院については指定管理者制度を導入している。

3病院の許可病床数は、令和3年度末時点で計766床である。こころの医療センターは、許可病床数、稼働病床数ともに348床である。一志病院は、許可病床数は82床であるが、療養病床全36床が休床となっており、稼働病床数は一般病床46床である。志摩病院は、許可病床数が336床であるが、一般病床52床が休床となっており、稼働病床数は一般病床184床及び精神病床100床の合計284床である。

県立病院の概要

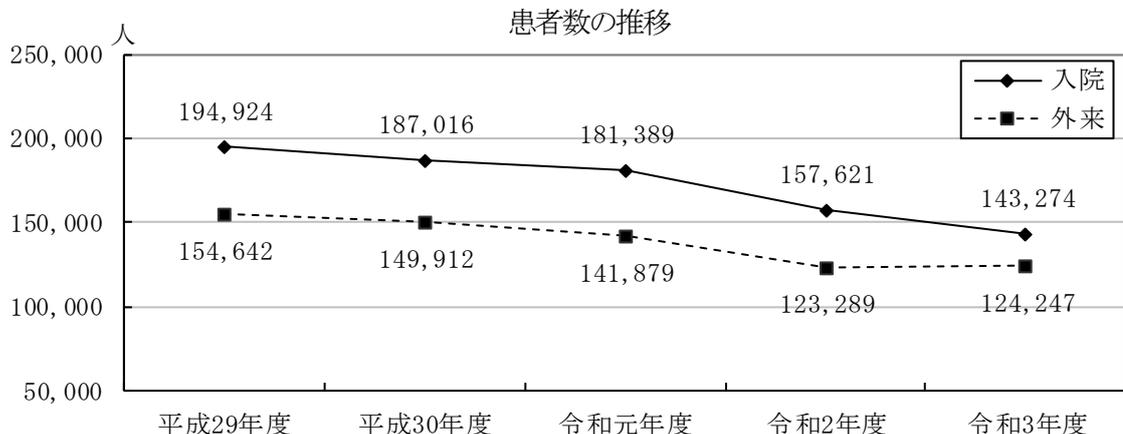
令和4年3月31日現在

病院名		こころの医療センター	一志病院	志摩病院
診療科目 (休診中のものを除く)		精神科、内科、 脳神経内科、歯科 (内科・歯科は入院患者 にのみ対応)	内科、外科、眼科	内科、循環器科、外科、 脳神経外科、小児科、 産婦人科、整形外科、 皮膚科、泌尿器科、 眼科、耳鼻咽喉科、 精神科、脳神経内科、 放射線科
許可 病床 数	一般		46 (46)	236 (184)
	療養		36 (0)	
	精神	348 (348)		100 (100)
	計	348 (348)	82 (46)	336 (284)

(注) 許可病床数の()は、稼働病床数

2 患者数の状況

令和3年度の入院患者数は延べ143,274人(1日平均393人)で、前年度に比べ14,347人減少し、外来患者数は延べ124,247人(1日平均513人)で、前年度に比べ958人増加している。



3 決算の状況

(1) 予算の執行状況

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入率 (B)/(A)
病院事業収益	6,144,523,000	6,170,961,587	26,438,587	100.4%
医業収益	2,327,885,000	2,363,989,804	36,104,804	101.6%
医業外収益	3,816,638,000	3,806,971,783	△ 9,666,217	99.7%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	繰越額(C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (B)/(A)
病院事業費用	5,226,392,000	5,201,027,500	3,685,000	21,679,500	99.5%
医業費用	5,084,858,000	5,060,677,304	3,685,000	20,495,696	99.5%
医業外費用	141,534,000	140,350,196	0	1,183,804	99.2%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 病院事業収益の決算額が予算額を2,643万8,587円上回っているのは、主に入院収益が見込みより多かったことによる。
- ② 病院事業費用の決算額と繰越額の合計が予算額を2,167万9,500円下回っているのは、主に経費(委託費、修繕費等)等の医業費用の執行残による。

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入率 (B)/(A)
資本的収入	1,341,440,000	1,311,346,900	△ 30,093,100	97.8%
企業債	279,400,000	259,200,000	△ 20,200,000	92.8%
県費負担金	462,040,000	452,146,900	△ 9,893,100	97.9%
短期貸付金返還金	600,000,000	600,000,000	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む(ただし、課税取引なし)。

支 出

(単位：円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	繰越額(C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (B)/(A)
資本的支出	1,947,282,000	1,907,734,684	23,137,000	16,410,316	98.0%
建設改良費	359,368,000	319,822,665	23,137,000	16,408,335	89.0%
企業債償還金	702,914,000	702,912,019	0	1,981	100.0%
長期借入金償還金	285,000,000	285,000,000	0	0	100.0%
短期貸付金	600,000,000	600,000,000	0	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 資本的収入の決算額が予算額を3,009万3,100円下回っているのは、主に建設改良費の一部を繰り越したことに伴う企業債の減による。
- ② 資本的支出の決算額と繰越額の合計が予算額を1,641万316円下回っているのは、主に資産購入費等の建設改良費の執行残による。
- ③ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額5億9,638万7,784円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額220万270円及び過年度分損益勘定留保資金5億9,418万7,514円で補てんしている。

(2) 経営成績

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科目	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	6,152,827,115	5,833,342,108	319,485,007	105.5%
医業収益	2,351,191,325	2,465,849,901	△ 114,658,576	95.4%
医業外収益	3,801,635,790	3,367,492,207	434,143,583	112.9%
総費用	5,186,007,165	5,392,427,493	△ 206,420,328	96.2%
医業費用	4,970,760,178	5,170,491,701	△ 199,731,523	96.1%
医業外費用	215,246,987	221,935,792	△ 6,688,805	97.0%
医業損益	△ 2,619,568,853	△ 2,704,641,800	85,072,947	-
経常損益	966,819,950	440,914,615	525,905,335	219.3%
純損益	966,819,950	440,914,615	525,905,335	219.3%

令和3年度の総収益は61億5,282万7,115円で、前年度に比べ3億1,948万5,007円増加している。これは主に、新型コロナ対策に係る国からの交付金等による一般会計繰入金が増等に伴う医業外収益の増による。

総費用は51億8,600万7,165円で、前年度に比べ2億642万328円減少している。これは主に、志摩病院の指定管理者への交付金の減等に伴う医業費用の減による。

この結果、純損益は9億6,681万9,950円の黒字となり、前年度に比べ5億2,590万5,335円増加している。

なお、病院別の純損益は、こころの医療センターが8億7,919万8,326円の黒字、一志病院が1億5,641万1,678円の黒字、志摩病院が6,879万54円の赤字となっている。

病院別純損益の状況

(単位：円)

病院名等	総収益(A)	総費用(B)	純損益(A)-(B)
こころの医療センター	4,075,607,446	3,196,409,120	879,198,326
一志病院	1,059,529,507	903,117,829	156,411,678
志摩病院	921,182,316	989,972,370	△ 68,790,054
県立病院課	96,507,846	96,507,846	0
合計	6,152,827,115	5,186,007,165	966,819,950

病院別純損益の推移

(単位：百万円)

病院名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
こころの医療センター	△ 75	△ 94	△ 74	336	879
一志病院	91	83	151	178	156
志摩病院	13	△ 64	△ 56	△ 73	△ 69
合計	30	△ 75	21	441	967

(注) 四捨五入のため、合計額が合わない場合がある。

(3) 一般会計繰入金

(単位：円)

病院名等	区分	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
こころの 医療センター	収益的収入	2,194,050,000	1,570,166,000	623,884,000	139.7%
	資本的収入	250,177,000	263,946,000	△ 13,769,000	94.8%
	計	2,444,227,000	1,834,112,000	610,115,000	133.3%
一志病院	収益的収入	364,499,000	349,277,000	15,222,000	104.4%
	資本的収入	54,989,500	42,143,000	12,846,500	130.5%
	計	419,488,500	391,420,000	28,068,500	107.2%
志摩病院	収益的収入	615,921,000	840,196,000	△ 224,275,000	73.3%
	資本的収入	146,517,400	138,421,000	8,096,400	105.8%
	計	762,438,400	978,617,000	△ 216,178,600	77.9%
県立病院課	収益的収入	95,379,000	98,994,000	△ 3,615,000	96.3%
	資本的収入	463,000	3,697,000	△ 3,234,000	12.5%
	計	95,842,000	102,691,000	△ 6,849,000	93.3%
合計	収益的収入	3,269,849,000	2,858,633,000	411,216,000	114.4%
	資本的収入	452,146,900	448,207,000	3,939,900	100.9%
	計	3,721,995,900	3,306,840,000	415,155,900	112.6%

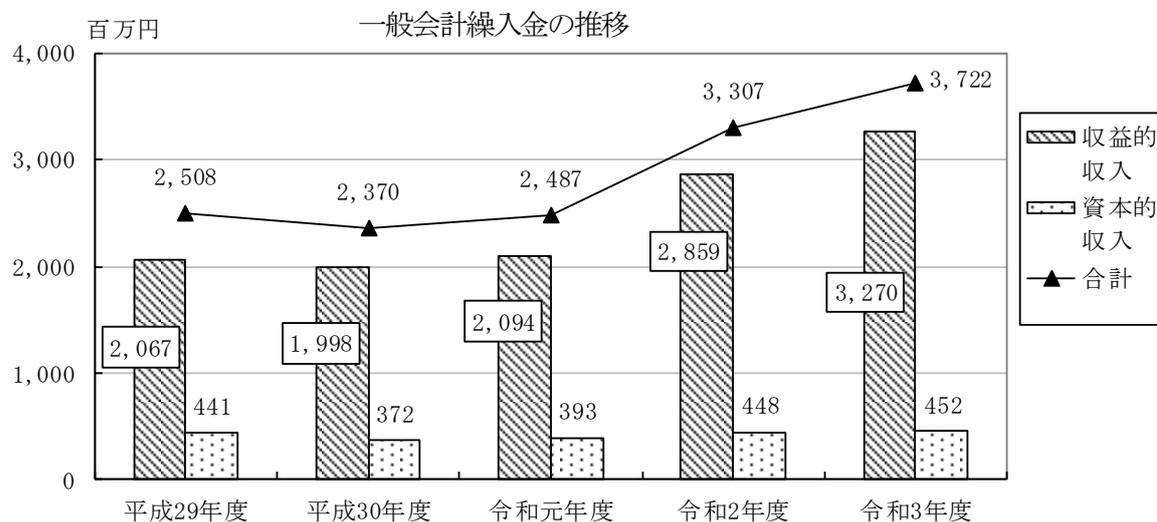
(注) 1 収益的収入：病院運営に係る政策的医療及び不採算医療等に要する経費の繰入金

2 資本的収入：建設改良に要する経費の繰入金

救急医療の確保、特殊医療に要する経費など、経営による収入をもって充てることが適当でない経費等については、総務省から繰出し基準が示されており、これに基づき一般会計から繰入が行われている。

令和3年度の収益的収入の繰入金は、32億6,984万9,000円で、前年度に比べ4億1,121万6,000円増加している。これは主に、新型コロナ対策に係る国からの交付金等を財源とした繰入金の増による。

資本的収入の繰入金は、4億5,214万6,900円で、前年度に比べ393万9,900円増加している。これは主に、企業債償還金の増に伴う繰入金の増による。



(4) 剰余金計算書

(単位：円)

区分	令和2年度末 残高	令和2年度 処 分 額	令和3年度 変 動 額	令和3年度末 残高
資本金	311,409,778	0	0	311,409,778
剰余金	△ 7,407,399,777	0	966,819,950	△ 6,440,579,827
資本剰余金	1,371,553,972	0	0	1,371,553,972
受贈財産評価額	12,053,972	0	0	12,053,972
補助金	0	0	0	0
県費負担金	1,359,500,000	0	0	1,359,500,000
その他資本剰余金	0	0	0	0
利益剰余金	△ 8,778,953,749	0	966,819,950	△ 7,812,133,799
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)	△ 8,778,953,749	0	966,819,950	△ 7,812,133,799
資本合計	△ 7,095,989,999	0	966,819,950	△ 6,129,170,049

- ① 資本金の令和3年度末残高は、変動がなかったため、令和2年度末残高と同額の3億1,140万9,778円となっている。
- ② 剰余金の令和3年度末残高は、令和2年度末残高△74億739万9,777円から利益剰余金により9億6,681万9,950円改善し、△64億4,057万9,827円となっている。

なお、未処理欠損金の令和3年度末残高は、令和2年度末残高87億7,895万3,749円から令和3年度の純利益分9億6,681万9,950円が減少し、78億1,213万3,799円となっている。

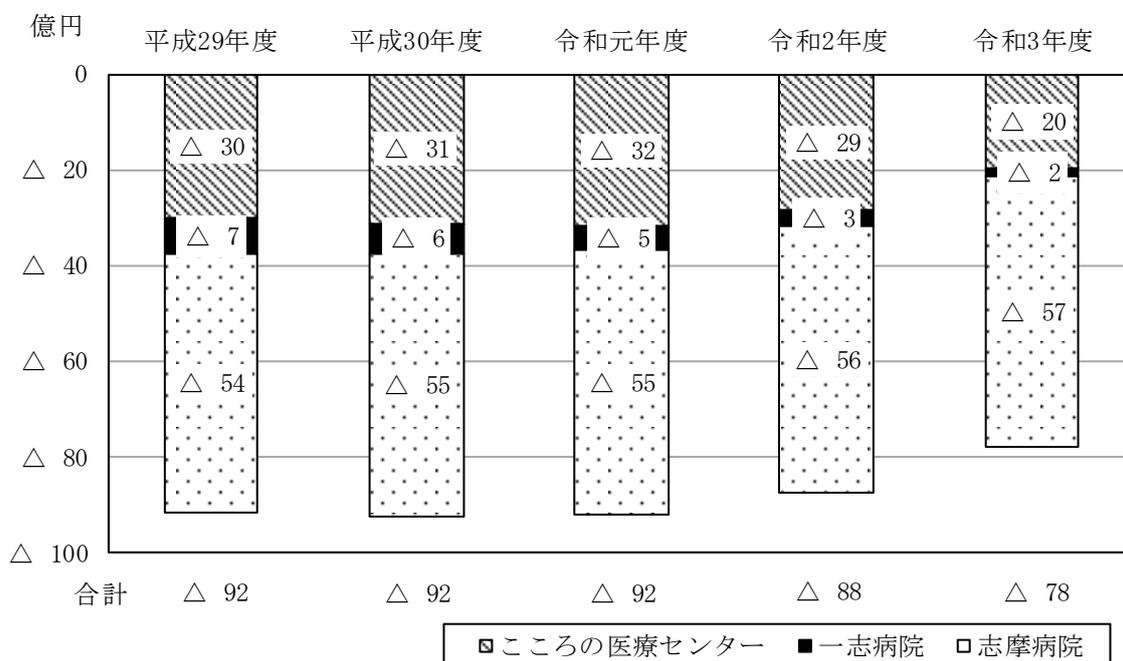
(5) 欠損金処理計算書

(単位：円)

区分	令和3年度末残高	欠損金処理額	処理後残高
資本金	311,409,778	0	311,409,778
剰余金	△ 6,440,579,827	0	△ 6,440,579,827
資本剰余金	1,371,553,972	0	1,371,553,972
未処理欠損金	△ 7,812,133,799	0	△ 7,812,133,799

未処理欠損金 78 億 1,213 万 3,799 円は、その全額を翌年度へ繰り越している。

各年度未処理欠損金（累積欠損金）の推移（再掲）



令和3年度末の未処理欠損金（累積欠損金）の残高は、78 億 1,213 万 3,799 円で、その内訳は、こころの医療センターが19 億 8,111 万 5,827 円、一志病院が1 億 5,223 万 5,967 円、志摩病院が56 億 7,878 万 2,005 円となっている。

(6) 財政状態

ア 貸借対照表

(単位：円)

科目	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
固定資産	7,909,085,699	8,207,576,800	△ 298,491,101	96.4%
流動資産	2,283,650,727	1,574,016,903	709,633,824	145.1%
資産合計	10,192,736,426	9,781,593,703	411,142,723	104.2%
固定負債	11,314,587,118	12,112,083,144	△ 797,496,026	93.4%
流動負債	1,311,161,222	1,267,813,073	43,348,149	103.4%
繰延収益	3,696,158,135	3,497,687,485	198,470,650	105.7%
負債合計	16,321,906,475	16,877,583,702	△ 555,677,227	96.7%
資本金	311,409,778	311,409,778	0	100.0%
剰余金	△ 6,440,579,827	△ 7,407,399,777	966,819,950	-
資本合計	△ 6,129,170,049	△ 7,095,989,999	966,819,950	-
負債・資本合計	10,192,736,426	9,781,593,703	411,142,723	104.2%

(ア) 固定資産

決算額は79億908万5,699円で、前年度に比べ2億9,849万1,101円(3.6%)減少している。これは主に、施設・設備の減価償却による。

(イ) 流動資産

決算額は22億8,365万727円で、前年度に比べ7億963万3,824円(45.1%)増加している。これは主に、現金預金の増による。

(ロ) 固定負債

決算額は113億1,458万7,118円で、前年度に比べ7億9,749万6,026円(6.6%)減少している。これは主に、企業債の元金償還に伴う残高の減による。

(ハ) 流動負債

決算額は13億1,116万1,222円で、前年度に比べ4,334万8,149円(3.4%)増加している。これは主に、退職給付引当金取崩に係る未払金の増による。

(ニ) 繰延収益

決算額は36億9,615万8,135円で、前年度に比べ1億9,847万650円(5.7%)増加している。これは主に、企業債の償還に伴う県費負担金受入の増による。

(ホ) 資本金

決算額は3億1,140万9,778円で、前年度と同額である。

(ヘ) 剰余金(△は未処理欠損金)

決算額は△64億4,057万9,827円で、前年度に比べ9億6,681万9,950円未処理欠損金が減少している。これは、純利益が生じたことによる。

イ 経営分析

項目		令和3年度	令和2年度	(参考) 令和2年度 全国平均	算式
資産・資本	自己資本構成比率 (%)	△ 23.9	△ 36.8	22.5	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$
	固定資産対長期資本比率 (%)	89.1	96.4	91.8	$\frac{\text{固定資産}}{(\text{固定負債} + \text{自己資本})} \times 100$
	流動比率 (%)	174.2	124.2	141.1	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
回転率	固定資産回転率 (回)	0.32	0.32	0.66	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$
	未収金回転率 (回)	4.29	5.83	4.73	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$
収益	総資本経常利益率 (%)	9.68	4.52	2.14	$\frac{\text{経常利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本})/2} \times 100$
	経常収支比率 (%)	118.6	108.2	101.6	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
	職員1人あたり医業収益 (千円)	7,675	7,883	12,904	$\frac{\text{医業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$

(注) 1 自己資本=資本金+剰余金+繰延収益

2 総資本=負債・資本合計

3 損益勘定所属職員数=医業活動に従事する職員数

4 令和2年度全国平均は、「令和2年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」の都道府県立病院の平均値

(ア) 自己資本構成比率

総資本(負債・資本合計)に占める自己資本の割合を示し、割合が高いほど財政基盤が安定していることを表す。全国平均より低い。これは主に、全国の都道府県立病院と比べ、資本金が少ないことによる。

(イ) 固定資産対長期資本比率

長期資金に対する固定資産の割合を示し、割合が低いほど財政基盤が安定し、100%を上回ると過大投資となることを表す。全国平均より低い。

(ロ) 流動比率

1年以内の短期的な支払能力を示し、100%を上回ることが必要であり、割合が高いほど経営の安全度が高いことを表す。全国平均より高い。

(ハ) 固定資産回転率

固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを示し、割合が高いほど固定資産が有効に利用されていることを表す。全国平均より低い。これは主に、指定管理者の入院・外来収益が、医業収益に含まれないことによる。

(ニ) 未収金回転率

未収金に対する医業収益の割合を示し、一般的に割合が高いほど未収期間が短く、早期に回収されていることを表す。全国平均より低い。

(カ) 総資本経常利益率

総資本（負債・資本合計）の投入によりどれだけ経常利益を上げたかを示し、割合が高いほど総合的な収益性が高いことを表す。全国平均より高い。

(キ) 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合を示し、割合が高いほど収益性が高いことを表す。全国平均より高い。

(ク) 職員1人あたり医業収益

職員1人あたりの医業収益を示し、金額が大きいほど収益性が高いことを表す。全国平均より低い。これは主に、医業収益を多く見込めない精神科が、医業収益の約7割を占めていることによる。

ウ キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

項 目	令和3年度(A)	令和2年度(B)	比較増減(A)-(B)
業務活動によるキャッシュ・フロー①	944,141,067	654,331,276	289,809,791
投資活動によるキャッシュ・フロー②	211,553,143	226,840,089	△ 15,286,946
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 728,712,019	△ 547,202,481	△ 181,509,538
資金増減額 (①+②+③)	426,982,191	333,968,884	93,013,307
資金期首残高	1,096,086,660	762,117,776	333,968,884
資金期末残高	1,523,068,851	1,096,086,660	426,982,191

業務活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費 5 億 8,089 万 6,027 円などにより、プラス 9 億 4,414 万 1,067 円となり、前年度に比べ 2 億 8,980 万 9,791 円増加している。

投資活動によるキャッシュ・フローは、企業債償還に係る一般会計繰入金の受入れ 4 億 4,946 万 9,000 円などにより、プラス 2 億 1,155 万 3,143 円となり、前年度に比べ 1,528 万 6,946 円減少している。

財務活動によるキャッシュ・フローは、企業債の償還による支出 7 億 291 万 2,019 円などにより、マイナス 7 億 2,871 万 2,019 円となり、前年度に比べ 1 億 8,150 万 9,538 円減少している。

この結果、令和 3 年度の資金期末残高は、資金期首残高に比べ 4 億 2,698 万 2,191 円増加し、15 億 2,306 万 8,851 円となった。

- (注) 1 業務活動によるキャッシュ・フロー (①)：事業本来の業務活動により、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フロー (②)：固定資産の取得や企業債の償還に係る一般会計繰入金を受入などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フロー (③)：企業債の借入・償還などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。
- 4 一般的には①はプラス、②及び③はマイナスとなり、①の額 > (②の額+③の額) の形がキャッシュ・フローが良い循環をしているといわれる (業務活動による収入で投資や借入金返済の資金を賅っている状態)。

第4 病院別の状況

1 こころの医療センター

(1) 病院の概況

こころの医療センターは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」により設置が義務づけられた県立精神科病院として、精神疾患の発生予防から医療、社会復帰までの精神医療ニーズに対応した専門医療を提供している。

特に、精神障がい者の社会復帰を積極的に促進するため、各種作業療法、デイケアを行うとともに、アルコール依存症患者及び認知症患者についても専門的な治療を行い、県の精神科医療の基幹病院としての役割を果たしている。

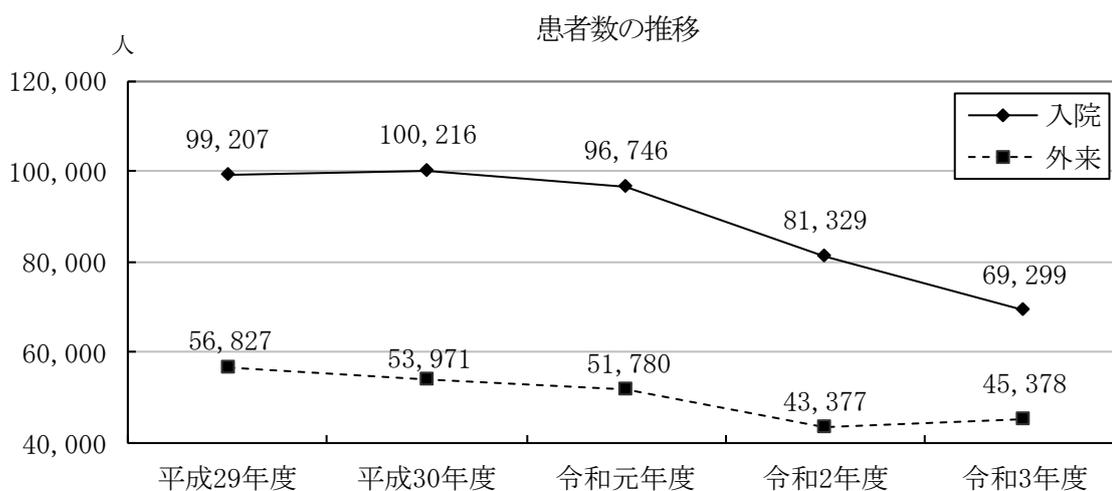
病院機能再編の取組の一環として、平成28年4月に許可病床数を400床から348床に減床しており、稼働病床数は許可病床数と同数である。

(2) 患者数の状況

令和3年度の延べ入院患者数は69,299人で、前年度に比べ12,030人減少している。病床利用率は54.6%で、前年度に比べ9.4ポイント減少している。

延べ外来患者数は45,378人で、前年度に比べ2,001人増加している。

項目	令和3年度(A)	令和2年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	69,299	81,329	△ 12,030
1日平均入院患者数 (人)	190	223	△ 33
延べ外来患者数 (人)	45,378	43,377	2,001
1日平均外来患者数 (人)	188	179	9
病床利用率 (%)	54.6	64.0	△ 9.4



(3) 経営成績

総収益は40億7,560万7,446円で、前年度に比べ5億5,799万987円増加している。これは主に、新型コロナ対策に係る国からの交付金等による一般会計繰入金の増による。

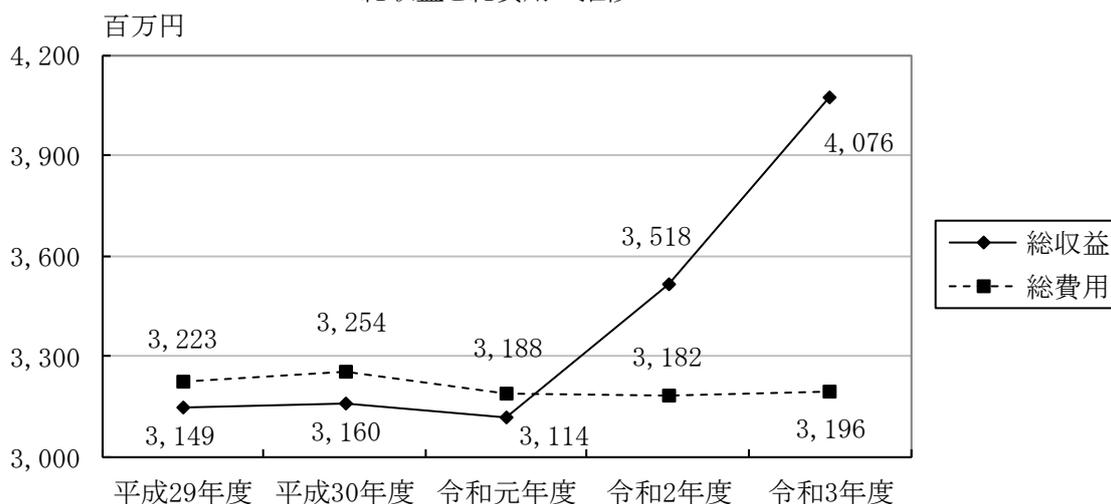
総費用は31億9,640万9,120円で、前年度に比べ1,449万7,454円増加している。これは主に、経費の増による。

この結果、純損益は8億7,919万8,326円の黒字となり、前年度に比べ5億4,349万3,533円改善している。

(単位:円)

科目	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	4,075,607,446	3,517,616,459	557,990,987	115.9%
医業収益	1,694,858,505	1,795,231,614	△ 100,373,109	94.4%
医業外収益	2,380,748,941	1,722,384,845	658,364,096	138.2%
総費用	3,196,409,120	3,181,911,666	14,497,454	100.5%
医業費用	3,071,058,197	3,053,793,374	17,264,823	100.6%
医業外費用	125,350,923	128,118,292	△ 2,767,369	97.8%
医業損益	△ 1,376,199,692	△ 1,258,561,760	△ 117,637,932	-
経常損益	879,198,326	335,704,793	543,493,533	261.9%
純損益	879,198,326	335,704,793	543,493,533	261.9%

総収益と総費用の推移



(4) 経営比較

全国の精神科自治体病院との経営比較では、1日平均入院患者数、同外来患者数、経常収支比率、他会計繰入金対経常収益比率について、全国平均より良い値となっている。

(こころの医療センターは3年度、全国平均は2年度での比較)

項目	令和3年度	令和2年度	令和2年度 全国平均	備考
1日平均入院患者数 (人)	190	223	162	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	188	179	124	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	19,778	18,365	20,687	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	6,511	6,458	8,941	多いほど良い
経常収支比率 (%)	126.9	110.3	101.4	高いほど良い
医業収支比率 (%)	59.9	62.6	62.2	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	113.8	109.4	104.8	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	24.6	28.0	34.3	低いほど良い

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項(通常の決算との差異)により、通常の決算額や収支比率と差異が生じる。

①繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

②県立病院課の収入及び費用を全額2病院(こころの医療センター及び一志病院)に配賦

2 令和2年度全国平均は、「令和2年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」による(精神科病院平均)。

3 経常収支比率=経常収益/経常費用

4 医業収支比率=医業収益/医業費用

5 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

6 他会計繰入金対経常収益比率=他会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画における令和3年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和2年度 実績	令和3年度 目標	令和3年度 実績	
1 医療機能等の充実に 向けた主要な取組	(1) 精神科救急・急性期医療の提供				
	精神科救急患者受入件数 (件)	154	230	178	
	(2) 専門的医療の提供				
	①認知症治療	認知症入院患者数 (人/日)	28.7	40.0	26.4
	②アルコール依存症治療	アルコール依存症入院患者数 (人/日)	25.9	30.0	19.4
	③精神科早期介入・ 早期予防	精神科早期介入対応件数 (件)	173	200	235
	(3) 地域生活を支えるための支援				
	①デイケアサービス	デイケア・ショートケア延べ患者数 (人)	8,474	12,500	9,911
	②訪問看護サービス	訪問看護延べ患者数 (人)	4,161	5,000	4,231
	③入院患者の退院支援	入院後1年以内の患者退院率 (%)	93.8	95.0	100.0
	④関係機関等との連携	障害福祉サービス事業所等との連携取組件数 (件)	7	8	8
	⑤精神疾患・障がいにか かる普及啓発	こころしつとこセミナー開催件数 (件)	28	35	35
	(4) 人材育成の充実				
	①研修医・看護実習生 等の受入れ	研修医・看護実習生等受入延べ人数 (人)	1,904	2,200	1,835
	②職員の育成	人材育成研修回数 (回)	5	5	6
	(5) 業務改善の推進				
	①危機管理対策	危機管理研修等参加率 (%)	99.6	93.0	99.7
	②患者満足度の向上	患者満足度 (%)	86.2	94.3	87.4
	2 経営の効率化等に向 けた主要な取組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上			
		経常収支比率 (%)	110.6	102.6	127.5
医業収支比率 (%)		58.8	63.4	55.2	
(2) 患者数の確保に向けた取組					
1日平均入院患者数 (人/日)		222.8	250.0	189.9	
1日平均外来患者数 (人/日)		178.5	200.0	187.5	
(3) 医師・看護師の確保					
医師充足率 (%)		84.2	100.0	79.8	
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0		

2 一志病院

(1) 病院の概況

一志病院は、津市の白山及び美杉地域を中心とした診療圏において、救急医療、高齢者医療を中心とした医療サービスを提供している。地域の過疎化・高齢化に対応するため、訪問診療等の在宅療養支援を進め、健康診断や健康教室の開催など、予防医療の普及啓発にも努めている。

また、平成19年度からは、内科において患者及び地域住民の健康問題を幅広く担当する家庭医療の実践に取り組んでいる。

許可病床数は、令和3年度に療養病床を40床から4床削減して36床とし、一般病床46床と合わせて82床となっている。なお、療養病床全36床が休床中であり、稼働病床数は46床となっている。

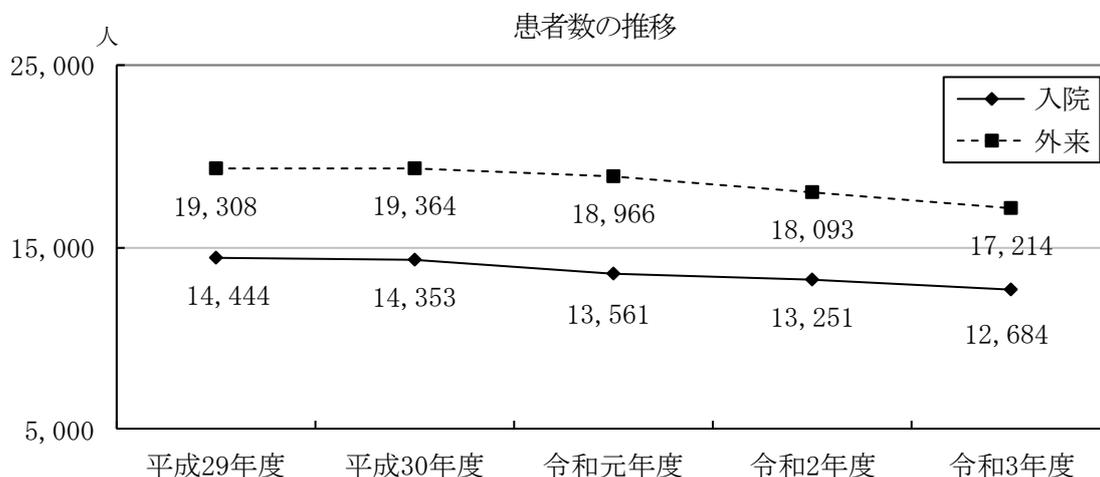
(2) 患者数の状況

令和3年度の延べ入院患者数は12,684人で、前年度に比べ567人減少している。休床を含む許可病床ベースの病床利用率は40.9%で、前年度に比べ1.3ポイント減少している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は75.5%で、前年度に比べ3.4ポイント減少している。

延べ外来患者数は17,214人で、前年度に比べ879人減少している。

項目	令和3年度(A)	令和2年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	12,684	13,251	△ 567
1日平均入院患者数 (人)	35	36	△ 1
延べ外来患者数 (人)	17,214	18,093	△ 879
1日平均外来患者数 (人)	71	74	△ 3
病床利用率(休床含む) (%)	40.9	42.2	△ 1.3
〃 (休床除く) (%)	75.5	78.9	△ 3.4
平均在院日数 (一般病床のみ) (日)	23.5	20.8	2.7

※令和3年度の病床利用率(休床含む)は、年度途中で許可病床数の変更があったため、日割り計算を行っている。



(3) 経営成績

総収益は10億5,952万9,507円で、前年度に比べ837万1,086円減少している。これは主に、入院患者数の減及び診療単価の減等による入院収益の減による。

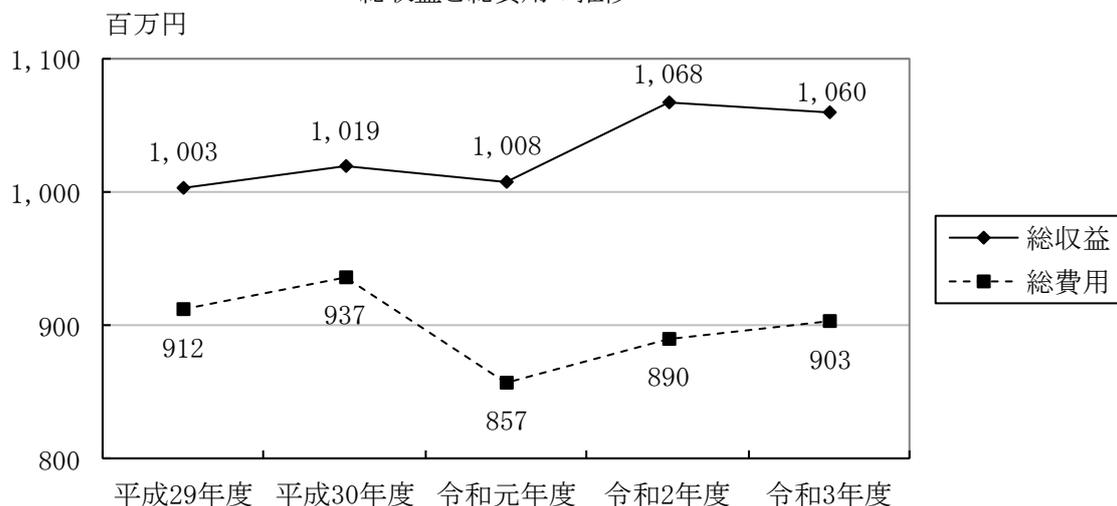
総費用は9億311万7,829円で、前年度に比べ1,293万9,668円増加している。これは主に、経費の増による。

この結果、純損益は1億5,641万1,678円の黒字となり、前年度に比べ2,131万754円減少している。

(単位：円)

科目	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	1,059,529,507	1,067,900,593	△ 8,371,086	99.2%
医業収益	648,916,295	663,079,534	△ 14,163,239	97.9%
医業外収益	410,613,212	404,821,059	5,792,153	101.4%
総費用	903,117,829	890,178,161	12,939,668	101.5%
医業費用	876,645,150	865,324,654	11,320,496	101.3%
医業外費用	26,472,679	24,853,507	1,619,172	106.5%
医業損益	△ 227,728,855	△ 202,245,120	△ 25,483,735	-
経常損益	156,411,678	177,722,432	△ 21,310,754	88.0%
純損益	156,411,678	177,722,432	△ 21,310,754	88.0%

総収益と総費用の推移



(4) 経営比較

同規模の病床を持つ全国自治体病院との経営比較では、患者1人1日あたりの入院収益、同外来収益、経常収支比率、医業収支比率及び職員給与費対医業収益比率について、全国平均より良い値となっている。

(一志病院は3年度、全国平均は2年度での比較)

項 目	令和3年度	令和2年度	令和2年度全国平均		備考
			50床以上 100床未満	(参考) 50床未満	
1日平均入院患者数 (人)	35	36	45	21	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	71	74	122	78	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	27,219	28,465	24,824	23,615	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	10,715	9,300	8,843	7,608	多いほど良い
経常収支比率 (%)	117.0	119.5	100.3	98.2	高いほど良い
医業収支比率 (%)	81.0	83.2	72.4	60.6	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	74.3	74.2	78.9	89.6	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	33.3	32.8	23.6	34.4	低いほど良い

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項(通常の決算との差異)により、通常の決算額や収支比率と差異が生じる。

①繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

②県立病院課の収入及び費用を全額2病院(こころの医療センター及び一志病院)に配賦

2 一志病院の許可病床数は82床、稼働病床数は46床

3 令和2年度全国平均は、「令和2年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」による(50床以上100床未満(及び50床未満)の病院平均)。

4 経常収支比率=経常収益/経常費用

5 医業収支比率=医業収益/医業費用

6 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

7 他会計繰入金対経常収益比率=他会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画における令和3年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和2年度 実績	令和3年度 目標	令和3年度 実績	
1 医療機能等の充実に向けた主要な取組	(1) 地域医療の推進				
	①在宅療養支援	訪問診療、訪問看護等延べ患者数(人)	4,938	4,700	5,007
	②予防医療	住民健診、人間ドック、がん検診受検者数(人)	1,361	1,400	1,068
	③救急医療	救急患者受入件数(件)	877	1,000	740
	④医療過疎地域への支援	医療過疎地域等への支援件数(件)	4	7	3
	⑤関係機関等との連携	多職種連携による取組件数(件)	13	20	10
	(2) 人材育成の充実				
	①総合診療医の育成	初期研修医・医学生受入延べ人数(人)	318	500	415
	②看護実習生等の受入れ	看護実習生等受入延べ人数(人)	48	330	303
	③医療従事者の能力向上への支援	学会、研修、カンファレンス等参加率(%)	100.0	100.0	100.0
	(3) 地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進				
		学会、論文等発表件数(件)	10	30	20
	(4) プライマリ・ケアセンターへの支援				
		プライマリ・ケア研修会開催件数(件)	3	3	3
	(5) 業務改善の推進				
	①業務改善活動	夢プロジェクト開催回数(回)	12	12	12
	②危機管理対策	危機管理研修等参加率(%)	100.0	100.0	100.0
③患者満足度の向上	患者満足度(%)	99.0	96.6	95.0	
2 経営の効率化等に向けた主要な取組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上				
		経常収支比率(%)	120.0	109.6	117.3
		医業収支比率(%)	76.6	73.3	74.0
		診療報酬検討会開催回数(回)	12	12	12
	(2) 患者数の確保に向けた取組				
		1日平均入院患者数(人/日)	36.3	38.0	34.8
		1日平均外来患者数(人/日)	74.5	76.0	71.1
	(3) 医師・看護師の確保				
	医師充足率(%)	80.1	100.0	95.8	
	看護師充足率(%)	100.0	100.0	100.0	

3 志摩病院

(1) 病院の概況

志摩病院は、志摩地域の中核病院として、地域住民や観光客に質の高い医療サービスを提供し、二次救急医療や災害医療の中心的な役割と、地域医療支援病院として地域の病院や診療所を支援する役割を担っている。また、県内で数少ない精神病床を併せ持つ病院として、精神身体合併症患者への対応を行っている。

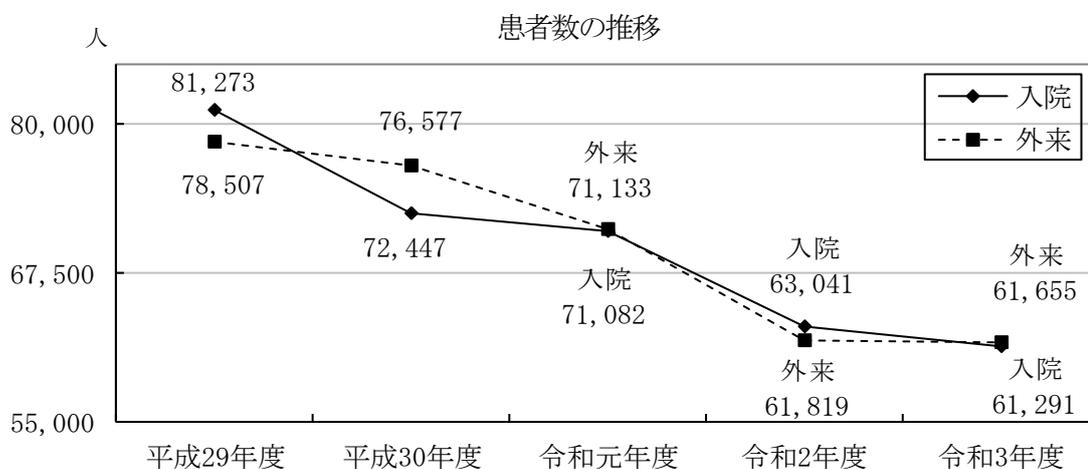
平成24年度から指定管理者により運営されている。許可病床数は、平成29年4月に一般病床を250床から14床削減して236床とし、精神病床100床と合わせて336床となっている。なお、一般病床52床が休床中であり、稼働病床数は284床となっている。

(2) 患者数の状況

令和3年度の延べ入院患者数は61,291人で、前年度に比べ1,750人減少している。休床を含む許可病床ベースの病床利用率は50.0%で、前年度に比べ1.4ポイント減少している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は59.1%で、前年度に比べ1.7ポイント減少している。

延べ外来患者数は61,655人で、前年度に比べ164人減少している。

項目	令和3年度(A)	令和2年度(B)	比較増減(A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	61,291	63,041	△ 1,750
1日平均入院患者数 (人)	168	173	△ 5
延べ外来患者数 (人)	61,655	61,819	△ 164
1日平均外来患者数 (人)	255	254	1
病床利用率(休床含む) (%)	50.0	51.4	△ 1.4
〃 (休床除く) (%)	59.1	60.8	△ 1.7
平均在院日数 (一般病床のみ) (日)	15.4	17.3	△ 1.9



(3) 経営成績

総収益は9億2,118万2,316円で、前年度に比べ2億2,721万1,557円減少している。これは主に、指定管理者に交付する交付金に係る一般会計繰入金の減による。

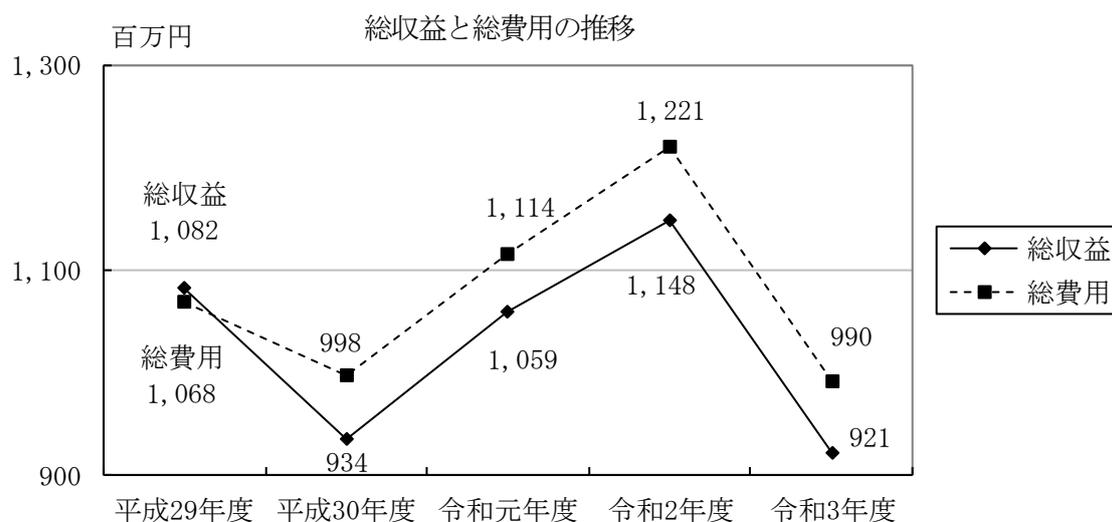
総費用は9億8,997万2,370円で、前年度に比べ2億3,093万4,113円減少している。これは主に、指定管理者に交付する交付金の減による。

この結果、純損益は6,879万54円の赤字となり、前年度に比べ372万2,556円改善している。

(単位：円)

科目	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	921,182,316	1,148,393,873	△ 227,211,557	80.2%
医業収益	7,416,525	7,538,753	△ 122,228	98.4%
医業外収益	913,765,791	1,140,855,120	△ 227,089,329	80.1%
総費用	989,972,370	1,220,906,483	△ 230,934,113	81.1%
医業費用	927,111,169	1,152,639,010	△ 225,527,841	80.4%
医業外費用	62,861,201	68,267,473	△ 5,406,272	92.1%
医業損益	△ 919,694,644	△ 1,145,100,257	225,405,613	-
経常損益	△ 68,790,054	△ 72,512,610	3,722,556	-
純損益	△ 68,790,054	△ 72,512,610	3,722,556	-

(注) 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。



(4) 中期経営計画における令和3年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和2年度 実績	令和3年度 目標	令和3年度 実績
1 診療充 実等 の回 復に 向 け た 取 組	(1) 診療機能の回復・充実			
	1日平均入院患者数(人/日)	172.7	201.0	167.9
	1日平均外来患者数(人/日)	254.4	301.0	254.8
	1か月平均救急患者数(人/月)	249.5	529.0	277.8
	経常収支比率(%)	116.8	100.0	121.5
	利用者満足度(%)	71.0	85.0	65.5

(注) 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、指定管理業務に係る数値目標として設定している。

【参考】

1 指定管理者による志摩病院運営の収支(決算額)

(単位：百万円)

	令和3年度	令和2年度	比較増減	主な増減理由
I 事業収益	3,092	2,932	160	
医業収益	2,997	2,847	150	
入院診療収益	2,185	2,052	133	入院診療単価の増
外来診療収益	812	795	17	外来診療単価の増
医業外収益	95	85	10	
II 事業外収益	2,347	1,835	512	国交付金の増
収益計 A	5,439	4,767	672	
III 事業費用	4,467	4,072	395	
うち給与費	2,512	2,283	229	
うち設備関係費	453	393	60	
IV 事業外費用	7	7	0	
費用計 B	4,474	4,079	395	
経常損益 C (A-B)	964	687	277	
V 臨時収益 D	29	0	29	
VI 臨時費用 E	0	0	0	
当期利益 (C+D-E)	993	687	306	

(注) 1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。
2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

2 志摩病院における政策的医療交付金、経営基盤強化交付金の推移

(単位：千円)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
政策的医療 交付金 (指定管理料)	450,247	465,881	474,816	481,948	485,780	516,680	524,630	559,296	581,124	594,143
経営基盤強化 交付金 (赤字補てん)	541,343	458,628	401,917	220,354	251,856	134,284	69,287	156,489	235,797	0
うち当年度分 (当初交付額)	541,343	434,851	382,408	184,137	94,859	0	0	0	0	0
うち前年度分 (追加交付額)	-	23,777	19,509	36,217	156,997	134,284	69,287	156,489	235,797	0
合 計	991,590	924,509	876,733	702,302	737,636	650,964	593,917	715,785	816,921	594,143

(注) 1 経営基盤強化交付金(赤字補てん)は、指定管理者の決算確定後に経常損失額から当初交付額を差し引いた額を翌年度に追加交付しているため、当該年度の当初交付額と翌年度の追加交付額を合計した額が当該年度の赤字補てん額となる。

2 県と指定管理者の基本協定(平成24年度～令和3年度)では、「平成29年度以降において、当該経常損失が生じた場合は、甲(注：県)及び乙(注：指定管理者)が協議するもの」としている。

3 志摩病院における救急患者の受入体制

内科系(令和元年7月以降)

区分	月	火	水	木	金	土	日
昼 間(8:30～17:00)	○	○	○	○	○	○	○
準夜間(17:00～22:30)	○	○	○	○	○	○	○※
深 夜(22:30～8:30)	○	○	○	○	○	○	○※

※体制によっては、受入れを一部制限(心肺停止患者及び在宅病診連携登録者に限定して対応)

外科系(令和4年6月1日～令和5年5月31日 試行的に火、水の準夜間を拡充)

区分	月	火	水	木	金	土	日・祝
昼 間(8:30～17:00)	○	○	○	○	○	○	○
準夜間(17:00～22:30)	○	○	○	○	○		
深 夜(22:30～8:30)					○		

小児科系(令和2年12月以降)

区分	月	火	水	木	金	土	日・祝
昼 間(8:30～17:00)	○	○	○		○		
準夜間(17:00～22:30)							
深 夜(22:30～8:30)							

1歳以上 てんかん発作や熱性けいれん、アナフィラキシーショック等に対応

(注) 基本協定では、「平成26年度以降の24時間365日体制の整備を目標とする。診療時間外の救急外来については、指定管理開始後3年を目指して内科系、外科系それぞれ1名の医師を配置し、診療体制の回復に努める。」としている。

4 常勤医師数の推移

診療科等	県直営	指定管理										
	H24.3	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.4	H29.4	H30.4	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4
内科および救急・総合診療科	5	7	11	17	11	14	14	11	10	9	11	10
外科	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	5
整形外科	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
小児科	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
精神科	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
放射線科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	20	22	24	30	23	26	26	24	22	22	24	24
初期研修医	1	2	2	2	3	4	2	2	4	4	6	6
合計	21	24	26	32	26	30	28	26	26	26	30	30

(出典) 三重県病院事業庁提供資料

(注) 基本協定では、「小児科及び産婦人科の入院診療体制は、指定管理運営開始から3年後を目標に常勤医師の確保に努める。」「政策的医療をより充実させるため、常勤医師41名体制を目標とし、さらなる医師確保に努める。」としている。

5 経営成績

項目	令和3年度	令和2年度	令和2年度全国平均		備考
			300床以上 399床未満	200床以上 299床未満	
1日平均入院患者数 (人)	168	173	218	161	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	255	254	543	373	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	35,741	33,295	52,314	42,207	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	13,105	12,701	14,720	11,549	多いほど良い
経常収支比率 (%)	122.3	122.5	101.7	99.9	高いほど良い
医業収支比率 (%)	71.2	79.9	82.8	80.3	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	76.8	68.1	63.5	65.9	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	11.0	16.3	11.5	13.3	低いほど良い

(出典) 三重県病院事業庁提供資料

(注) 指定管理者における会計と、病院事業庁における会計を合算したもの。
政策的医療交付金等、一部の内容は2重計上とにならないよう調整している。

【参考】

県立病院課の中期経営計画における令和3年度の目標及び実績値

区分	目標項目	令和2年度 実績	令和3年度 目標	令和3年度 実績
1 各 県 立 病 院 に 対 す る 支 援	(1) 経常収支等の向上に向けた支援			
	経常収支比率 (%) ※こころの医療センター、一志病院、県立病院課を合計した値	112.3	104.0	124.7
	医業収支比率 (%) ※同上	61.2	65.6	58.0
	(2) 医師・看護師の確保			
	医師充足率 (%) ※こころの医療センターと一志病院を合計した値	82.9	100.0	83.9
	看護師充足率 (%) ※同上	100.0	100.0	100.0
	(3) 患者満足度の向上			
	患者満足度 (%) ※同上	92.4	95.0	90.6

第5 決算諸表

1 損益計算書

比較損益計算書（病院事業計）

（単位：円）

科 目	令和3年度	令和2年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	2,351,191,325	2,465,849,901	△ 114,658,576	95.4%
入院収益	1,715,851,710	1,870,838,082	△ 154,986,372	91.7%
外来収益	479,910,237	448,394,436	31,515,801	107.0%
その他医業収益	155,429,378	146,617,383	8,811,995	106.0%
医業費用	4,970,760,178	5,170,491,701	△ 199,731,523	96.1%
給与費	2,702,117,387	2,709,160,789	△ 7,043,402	99.7%
材料費	254,833,763	261,664,659	△ 6,830,896	97.4%
経 費	1,416,214,886	1,605,447,009	△ 189,232,123	88.2%
減価償却費	580,896,027	583,300,035	△ 2,404,008	99.6%
資産減耗費	10,344,795	6,511,113	3,833,682	158.9%
研究研修費	6,353,320	4,408,096	1,945,224	144.1%
医業損益	△ 2,619,568,853	△ 2,704,641,800	85,072,947	-
医業外収益	3,801,635,790	3,367,492,207	434,143,583	112.9%
受取利息配当金	42,227	85,146	△ 42,919	49.6%
他会計補助金	133,101,000	137,379,000	△ 4,278,000	96.9%
長期前受金戻入 補助金	253,676,250	247,131,593	6,544,657	102.6%
負担金・交付金	60,953,000	51,020,190	9,932,810	119.5%
その他医業外収益	3,136,748,000	2,721,254,000	415,494,000	115.3%
その他医業外収益	217,115,313	210,622,278	6,493,035	103.1%
医業外費用	215,246,987	221,935,792	△ 6,688,805	97.0%
支払利息及び企業債取扱諸費	86,900,862	95,072,734	△ 8,171,872	91.4%
患者外給食材料費	369,975	135,321	234,654	273.4%
長期前払消費税償却	25,406,653	24,421,351	985,302	104.0%
雑損失	102,569,497	102,306,386	263,111	100.3%
経常損益	966,819,950	440,914,615	525,905,335	219.3%
当年度純損益	966,819,950	440,914,615	525,905,335	219.3%
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 8,778,953,749	△ 9,219,868,364	440,914,615	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 7,812,133,799	△ 8,778,953,749	966,819,950	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 志摩病院分については、平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

比較損益計算書（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	令和3年度	令和2年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	1,694,858,505	1,795,231,614	△ 100,373,109	94.4%
入院収益	1,370,609,355	1,493,644,594	△ 123,035,239	91.8%
外来収益	295,469,137	280,127,310	15,341,827	105.5%
その他医業収益	28,780,013	21,459,710	7,320,303	134.1%
医業費用	3,071,058,197	3,053,793,374	17,264,823	100.6%
給与費	2,087,703,781	2,085,806,021	1,897,760	100.1%
材料費	187,547,840	200,608,052	△ 13,060,212	93.5%
経 費	587,223,834	567,492,857	19,730,977	103.5%
減価償却費	200,802,353	194,760,055	6,042,298	103.1%
資産減耗費	2,278,287	1,367,810	910,477	166.6%
研究研修費	5,502,102	3,758,579	1,743,523	146.4%
医業損益	△ 1,376,199,692	△ 1,258,561,760	△ 117,637,932	-
医業外収益	2,380,748,941	1,722,384,845	658,364,096	138.2%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	87,147,000	90,943,000	△ 3,796,000	95.8%
長期前受金戻入	97,895,723	92,725,924	5,169,799	105.6%
補助金	50,650,000	23,587,190	27,062,810	214.7%
負担金・交付金	2,106,903,000	1,479,223,000	627,680,000	142.4%
その他医業外収益	38,153,218	35,905,731	2,247,487	106.3%
医業外費用	125,350,923	128,118,292	△ 2,767,369	97.8%
支払利息及び企業債取扱諸費	42,650,618	47,753,582	△ 5,102,964	89.3%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	4,708,027	4,347,796	360,231	108.3%
雑損失	77,992,278	76,016,914	1,975,364	102.6%
経常損益	879,198,326	335,704,793	543,493,533	261.9%
当年度純損益	879,198,326	335,704,793	543,493,533	261.9%
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 2,860,314,153	△ 3,196,018,946	335,704,793	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 1,981,115,827	△ 2,860,314,153	879,198,326	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（一志病院）

（単位：円）

科 目	令和3年度	令和2年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	648,916,295	663,079,534	△ 14,163,239	97.9%
入院収益	345,242,355	377,193,488	△ 31,951,133	91.5%
外来収益	184,441,100	168,267,126	16,173,974	109.6%
その他医業収益	119,232,840	117,618,920	1,613,920	101.4%
医業費用	876,645,150	865,324,654	11,320,496	101.3%
給与費	523,881,980	529,254,500	△ 5,372,520	99.0%
材料費	67,285,923	61,056,607	6,229,316	110.2%
経 費	218,903,285	207,427,458	11,475,827	105.5%
減価償却費	64,993,253	65,154,017	△ 160,764	99.8%
資産減耗費	949,591	1,782,555	△ 832,964	53.3%
研究研修費	631,118	649,517	△ 18,399	97.2%
医業損益	△ 227,728,855	△ 202,245,120	△ 25,483,735	-
医業外収益	410,613,212	404,821,059	5,792,153	101.4%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	20,623,000	20,768,000	△ 145,000	99.3%
長期前受金戻入	20,319,613	18,948,102	1,371,511	107.2%
補助金	4,650,000	23,931,000	△ 19,281,000	19.4%
負担金・交付金	343,876,000	328,509,000	15,367,000	104.7%
その他医業外収益	21,144,599	12,664,957	8,479,642	167.0%
医業外費用	26,472,679	24,853,507	1,619,172	106.5%
支払利息及び企業債取扱諸費	698,755	747,939	△ 49,184	93.4%
患者外給食材料費	369,975	135,321	234,654	273.4%
長期前払消費税償却	3,211,176	3,071,631	139,545	104.5%
雑損失	22,192,773	20,898,616	1,294,157	106.2%
経常損益	156,411,678	177,722,432	△ 21,310,754	88.0%
当年度純損益	156,411,678	177,722,432	△ 21,310,754	88.0%
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 308,647,645	△ 486,370,077	177,722,432	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 152,235,967	△ 308,647,645	156,411,678	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

比較損益計算書（志摩病院）

（単位：円）

科 目	令和3年度	令和2年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	7,416,525	7,538,753	△ 122,228	98.4%
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	7,416,525	7,538,753	△ 122,228	98.4%
医業費用	927,111,169	1,152,639,010	△ 225,527,841	80.4%
給与費	0	0	0	-
材料費	0	0	0	-
経 費	606,748,169	827,085,137	△ 220,336,968	73.4%
減価償却費	313,246,083	322,193,125	△ 8,947,042	97.2%
資産減耗費	7,116,917	3,360,748	3,756,169	211.8%
研究研修費	0	0	0	-
医業損益	△ 919,694,644	△ 1,145,100,257	225,405,613	-
医業外収益	913,765,791	1,140,855,120	△ 227,089,329	80.1%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	0	0	0	-
長期前受金戻入	134,491,080	135,149,233	△ 658,153	99.5%
補助金	5,653,000	3,502,000	2,151,000	161.4%
負担金・交付金	615,921,000	840,196,000	△ 224,275,000	73.3%
その他医業外収益	157,700,711	162,007,887	△ 4,307,176	97.3%
医業外費用	62,861,201	68,267,473	△ 5,406,272	92.1%
支払利息及び企業債取扱諸費	43,545,533	46,548,542	△ 3,003,009	93.5%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	17,336,161	16,854,100	482,061	102.9%
雑損失	1,979,507	4,864,831	△ 2,885,324	40.7%
経常損益	△ 68,790,054	△ 72,512,610	3,722,556	-
当年度純損益	△ 68,790,054	△ 72,512,610	3,722,556	-
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 5,609,991,951	△ 5,537,479,341	△ 72,512,610	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 5,678,782,005	△ 5,609,991,951	△ 68,790,054	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

比較損益計算書（県立病院課）

（単位：円）

科 目	令和3年度	令和2年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	0	0	0	-
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	0	0	0	-
医業費用	95,945,662	98,734,663	△ 2,789,001	97.2%
給与費	90,531,626	94,100,268	△ 3,568,642	96.2%
材料費	0	0	0	-
経 費	3,339,598	3,441,557	△ 101,959	97.0%
減価償却費	1,854,338	1,192,838	661,500	155.5%
資産減耗費	0	0	0	-
研究研修費	220,100	0	220,100	-
医業損益	△ 95,945,662	△ 98,734,663	2,789,001	-
医業外収益	96,507,846	99,431,183	△ 2,923,337	97.1%
受取利息配当金	42,227	85,146	△ 42,919	49.6%
他会計補助金	25,331,000	25,668,000	△ 337,000	98.7%
長期前受金戻入 補助金	969,834 0	308,334 0	661,500 0	314.5% -
負担金・交付金	70,048,000	73,326,000	△ 3,278,000	95.5%
その他医業外収益	116,785	43,703	73,082	267.2%
医業外費用	562,184	696,520	△ 134,336	80.7%
支払利息及び企業債取扱諸費	5,956	22,671	△ 16,715	26.3%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	151,289	147,824	3,465	102.3%
雑損失	404,939	526,025	△ 121,086	77.0%
経常損益	0	0	0	-
当年度純損益	0	0	0	-
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	0	0	0	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	0	0	0	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 貸借対照表

比較貸借対照表（病院事業計）

（単位：円）

科 目	令和3年度		令和2年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	7,909,085,699	77.6%	8,207,576,800	83.9%	△ 298,491,101	96.4%
有形固定資産	7,634,443,455	74.9%	7,934,401,541	81.1%	△ 299,958,086	96.2%
土地	490,665,273	4.8%	490,665,273	5.0%	0	100.0%
建物	6,066,913,144	59.5%	6,289,984,416	64.3%	△ 223,071,272	96.5%
構築物	285,496,054	2.8%	309,790,582	3.2%	△ 24,294,528	92.2%
器械備品	778,145,590	7.6%	825,900,970	8.4%	△ 47,755,380	94.2%
車両	6,170,101	0.1%	6,788,785	0.1%	△ 618,684	90.9%
建設仮勘定	7,053,293	0.1%	11,271,515	0.1%	△ 4,218,222	62.6%
無形固定資産	2,298,889	0.0%	2,298,889	0.0%	0	100.0%
電話加入権	2,298,889	0.0%	2,298,889	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	272,343,355	2.7%	270,876,370	2.8%	1,466,985	100.5%
長期貸付金	2,400,000	0.0%	2,400,000	0.0%	0	100.0%
長期前払消費税	269,773,355	2.6%	268,306,370	2.7%	1,466,985	100.5%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	2,283,650,727	22.4%	1,574,016,903	16.1%	709,633,824	145.1%
現金預金	1,523,068,851	14.9%	1,096,086,660	11.2%	426,982,191	139.0%
未収金	748,559,280	7.3%	467,426,090	4.8%	281,133,190	160.1%
貯蔵品	7,957,206	0.1%	6,979,325	0.1%	977,881	114.0%
前払費用	200,000	0.0%	200,000	0.0%	0	100.0%
前払金	865,390	0.0%	324,828	0.0%	540,562	266.4%
その他流動資産	3,000,000	0.0%	3,000,000	0.0%	0	100.0%
資産合計	10,192,736,426	100.0%	9,781,593,703	100.0%	411,142,723	104.2%
固定負債	11,314,587,118	111.0%	12,112,083,144	123.8%	△ 797,496,026	93.4%
企業債	5,206,211,896	51.1%	5,667,029,509	57.9%	△ 460,817,613	91.9%
他会計借入金	4,955,592,278	48.6%	5,240,592,278	53.6%	△ 285,000,000	94.6%
引当金	1,152,782,944	11.3%	1,204,461,357	12.3%	△ 51,678,413	95.7%
流動負債	1,311,161,222	12.9%	1,267,813,073	13.0%	43,348,149	103.4%
企業債	720,017,613	7.1%	702,912,019	7.2%	17,105,594	102.4%
引当金	186,941,000	1.8%	183,105,000	1.9%	3,836,000	102.1%
未払金	392,968,557	3.9%	366,940,770	3.8%	26,027,787	107.1%
未払消費税及び 地方消費税	2,867,500	0.0%	7,198,900	0.1%	△ 4,331,400	39.8%
その他流動負債	8,366,552	0.1%	7,656,384	0.1%	710,168	109.3%
繰延収益	3,696,158,135	36.3%	3,497,687,485	35.8%	198,470,650	105.7%
長期前受金	3,696,158,135	36.3%	3,497,687,485	35.8%	198,470,650	105.7%
負債合計	16,321,906,475	160.1%	16,877,583,702	172.5%	△ 555,677,227	96.7%
資本金	311,409,778	3.1%	311,409,778	3.2%	0	100.0%
剰余金	△ 6,440,579,827	△ 63.2%	△ 7,407,399,777	△ 75.7%	966,819,950	-
資本剰余金	1,371,553,972	13.5%	1,371,553,972	14.0%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 7,812,133,799	△ 76.6%	△ 8,778,953,749	△ 89.7%	966,819,950	-
資本合計	△ 6,129,170,049	△ 60.1%	△ 7,095,989,999	△ 72.5%	966,819,950	-
負債・資本合計	10,192,736,426	100.0%	9,781,593,703	100.0%	411,142,723	104.2%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	令和3年度		令和2年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	3,637,670,834	68.1%	3,772,811,579	78.1%	△ 135,140,745	96.4%
有形固定資産	3,572,096,758	66.9%	3,708,643,928	76.8%	△ 136,547,170	96.3%
土地	298,015,082	5.6%	298,015,082	6.2%	0	100.0%
建物	2,986,049,749	55.9%	3,107,953,649	64.3%	△ 121,903,900	96.1%
構築物	77,359,516	1.4%	84,059,709	1.7%	△ 6,700,193	92.0%
器械備品	205,734,956	3.9%	209,879,376	4.3%	△ 4,144,420	98.0%
車両	4,937,455	0.1%	5,190,475	0.1%	△ 253,020	95.1%
建設仮勘定	0	0.0%	3,545,637	0.1%	△ 3,545,637	皆減
無形固定資産	443,700	0.0%	443,700	0.0%	0	100.0%
電話加入権	443,700	0.0%	443,700	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	65,130,376	1.2%	63,723,951	1.3%	1,406,425	102.2%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	64,960,376	1.2%	63,553,951	1.3%	1,406,425	102.2%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	1,702,594,337	31.9%	1,057,073,670	21.9%	645,520,667	161.1%
現金預金	1,101,708,043	20.6%	740,015,862	15.3%	361,692,181	148.9%
未収金	594,679,814	11.1%	312,154,447	6.5%	282,525,367	190.5%
貯蔵品	5,179,128	0.1%	4,378,533	0.1%	800,595	118.3%
前払費用	200,000	0.0%	200,000	0.0%	0	100.0%
前払金	827,352	0.0%	324,828	0.0%	502,524	254.7%
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資産合計	5,340,265,171	100.0%	4,829,885,249	100.0%	510,379,922	110.6%
固定負債	4,441,073,578	83.2%	4,953,088,434	102.6%	△ 512,014,856	89.7%
企業債	2,489,526,803	46.6%	2,832,285,076	58.6%	△ 342,758,273	87.9%
他会計借入金	1,004,163,818	18.8%	1,190,553,818	24.6%	△ 186,390,000	84.3%
引当金	947,382,957	17.7%	930,249,540	19.3%	17,133,417	101.8%
流動負債	760,566,274	14.2%	769,651,099	15.9%	△ 9,084,825	98.8%
企業債	405,958,273	7.6%	389,928,124	8.1%	16,030,149	104.1%
引当金	142,881,000	2.7%	139,528,000	2.9%	3,353,000	102.4%
未払金	208,987,118	3.9%	235,767,627	4.9%	△ 26,780,509	88.6%
未払消費税及び 地方消費税	866,740	0.0%	1,455,207	0.0%	△ 588,467	59.6%
その他流動負債	1,873,143	0.0%	2,972,141	0.1%	△ 1,098,998	63.0%
繰延収益	1,929,567,616	36.1%	1,777,286,339	36.8%	152,281,277	108.6%
長期前受金	1,929,567,616	36.1%	1,777,286,339	36.8%	152,281,277	108.6%
負債合計	7,131,207,468	133.5%	7,500,025,872	155.3%	△ 368,818,404	95.1%
資本金	188,628,538	3.5%	188,628,538	3.9%	0	100.0%
剰余金	△ 1,979,570,835	△37.1%	△ 2,858,769,161	△59.2%	879,198,326	-
資本剰余金	1,544,992	0.0%	1,544,992	0.0%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 1,981,115,827	△37.1%	△ 2,860,314,153	△59.2%	879,198,326	-
資本合計	△ 1,790,942,297	△33.5%	△ 2,670,140,623	△55.3%	879,198,326	-
負債・資本合計	5,340,265,171	100.0%	4,829,885,249	100.0%	510,379,922	110.6%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（一志病院）

（単位：円）

科 目	令和3年度		令和2年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	715,121,014	45.5%	742,696,779	48.3%	△ 27,575,765	96.3%
有形固定資産	678,022,007	43.1%	705,890,976	45.9%	△ 27,868,969	96.1%
土地	39,881,445	2.5%	39,881,445	2.6%	0	100.0%
建物	512,490,378	32.6%	521,036,219	33.9%	△ 8,545,841	98.4%
構築物	35,389,582	2.3%	38,004,736	2.5%	△ 2,615,154	93.1%
器械備品	89,195,679	5.7%	105,537,989	6.9%	△ 16,342,310	84.5%
車両	1,064,923	0.1%	1,430,587	0.1%	△ 365,664	74.4%
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無形固定資産	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
電話加入権	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	36,678,807	2.3%	36,385,603	2.4%	293,204	100.8%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	36,678,807	2.3%	36,385,603	2.4%	293,204	100.8%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	856,211,465	54.5%	795,090,924	51.7%	61,120,541	107.7%
現金預金	700,511,830	44.6%	640,349,082	41.6%	60,162,748	109.4%
未収金	152,883,519	9.7%	152,141,050	9.9%	742,469	100.5%
貯蔵品	2,778,078	0.2%	2,600,792	0.2%	177,286	106.8%
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	38,038	0.0%	0	0.0%	38,038	皆増
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資産合計	1,571,332,479	100.0%	1,537,787,703	100.0%	33,544,776	102.2%
固定負債	1,256,432,739	80.0%	1,470,660,706	95.6%	△ 214,227,967	85.4%
企業債	231,223,388	14.7%	276,124,525	18.0%	△ 44,901,137	83.7%
他会計借入金	830,036,242	52.8%	928,646,242	60.4%	△ 98,610,000	89.4%
引当金	195,173,109	12.4%	265,889,939	17.3%	△ 70,716,830	73.4%
流動負債	196,920,213	12.5%	140,229,035	9.1%	56,691,178	140.4%
企業債	47,601,137	3.0%	41,872,256	2.7%	5,728,881	113.7%
引当金	32,817,000	2.1%	31,612,000	2.1%	1,205,000	103.8%
未払金	111,115,070	7.1%	61,151,343	4.0%	49,963,727	181.7%
未払消費税及び 地方消費税	1,899,913	0.1%	4,000,839	0.3%	△ 2,100,926	47.5%
その他流動負債	3,487,093	0.2%	1,592,597	0.1%	1,894,496	219.0%
繰延収益	222,839,073	14.2%	188,169,186	12.2%	34,669,887	118.4%
長期前受金	222,839,073	14.2%	188,169,186	12.2%	34,669,887	118.4%
負債合計	1,676,192,025	106.7%	1,799,058,927	117.0%	△ 122,866,902	93.2%
資本金	36,867,441	2.3%	36,867,441	2.4%	0	100.0%
剰余金	△ 141,726,987	△9.0%	△ 298,138,665	△19.4%	156,411,678	-
資本剰余金	10,508,980	0.7%	10,508,980	0.7%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 152,235,967	△9.7%	△ 308,647,645	△20.1%	156,411,678	-
資本合計	△ 104,859,546	△6.7%	△ 261,271,224	△17.0%	156,411,678	-
負債・資本合計	1,571,332,479	100.0%	1,537,787,703	100.0%	33,544,776	102.2%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（志摩病院）

（単位：円）

科 目	令和3年度		令和2年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	3,547,365,995	109.2%	3,681,134,959	108.9%	△ 133,768,964	96.4%
有形固定資産	3,379,227,302	104.1%	3,512,914,911	103.9%	△ 133,687,609	96.2%
土地	152,768,746	4.7%	152,768,746	4.5%	0	100.0%
建物	2,568,373,017	79.1%	2,660,994,548	78.7%	△ 92,621,531	96.5%
構築物	172,746,956	5.3%	187,726,137	5.6%	△ 14,979,181	92.0%
器械備品	478,117,567	14.7%	503,531,879	14.9%	△ 25,414,312	95.0%
車両	167,723	0.0%	167,723	0.0%	0	100.0%
建設仮勘定	7,053,293	0.2%	7,725,878	0.2%	△ 672,585	91.3%
無形固定資産	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
電話加入権	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	166,703,704	5.1%	166,785,059	4.9%	△ 81,355	100.0%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	166,703,704	5.1%	166,785,059	4.9%	△ 81,355	100.0%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	△ 299,967,710	△9.2%	△ 301,393,908	△8.9%	1,426,198	99.5%
現金預金	△ 300,963,657	△9.3%	△ 302,674,353	△9.0%	1,710,696	99.4%
未収金	995,947	0.0%	1,280,445	0.0%	△ 284,498	77.8%
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資産合計	3,247,398,285	100.0%	3,379,741,051	100.0%	△ 132,342,766	96.1%
固定負債	5,605,108,706	172.6%	5,677,341,909	168.0%	△ 72,233,203	98.7%
企業債	2,484,536,705	76.5%	2,556,769,908	75.6%	△ 72,233,203	97.2%
他会計借入金	3,120,572,001	96.1%	3,120,572,001	92.3%	0	100.0%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動負債	334,815,837	10.3%	338,161,666	10.0%	△ 3,345,829	99.0%
企業債	265,533,203	8.2%	270,186,639	8.0%	△ 4,653,436	98.3%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
未払金	69,177,594	2.1%	66,269,365	2.0%	2,908,229	104.4%
未払消費税及び 地方消費税	105,040	0.0%	1,705,662	0.1%	△ 1,600,622	6.2%
その他流動負債	0	0.0%	0	0.0%	0	-
繰延収益	1,540,841,948	47.4%	1,528,815,628	45.2%	12,026,320	100.8%
長期前受金	1,540,841,948	47.4%	1,528,815,628	45.2%	12,026,320	100.8%
負債合計	7,480,766,491	230.4%	7,544,319,203	223.2%	△ 63,552,712	99.2%
資本金	85,913,799	2.6%	85,913,799	2.5%	0	100.0%
剰余金	△ 4,319,282,005	△133.0%	△ 4,250,491,951	△125.8%	△ 68,790,054	-
資本剰余金	1,359,500,000	41.9%	1,359,500,000	40.2%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 5,678,782,005	△174.9%	△ 5,609,991,951	△166.0%	△ 68,790,054	-
資本合計	△ 4,233,368,206	△130.4%	△ 4,164,578,152	△123.2%	△ 68,790,054	-
負債・資本合計	3,247,398,285	100.0%	3,379,741,051	100.0%	△ 132,342,766	96.1%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

比較貸借対照表（県立病院課）

（単位：円）

科 目	令和3年度		令和2年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	8,927,856	26.5%	10,933,483	32.0%	△ 2,005,627	81.7%
有形固定資産	5,097,388	15.1%	6,951,726	20.3%	△ 1,854,338	73.3%
土地	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
構築物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
器械備品	5,097,388	15.1%	6,951,726	20.3%	△ 1,854,338	73.3%
車両	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無形固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
電話加入権	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他無形 固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	3,830,468	11.4%	3,981,757	11.6%	△ 151,289	96.2%
長期貸付金	2,400,000	7.1%	2,400,000	7.0%	0	100.0%
長期前払消費税	1,430,468	4.2%	1,581,757	4.6%	△ 151,289	90.4%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	24,812,635	73.5%	23,246,217	68.0%	1,566,418	106.7%
現金預金	21,812,635	64.6%	18,396,069	53.8%	3,416,566	118.6%
未収金	0	0.0%	1,850,148	5.4%	△ 1,850,148	皆減
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払費用	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動資産	3,000,000	8.9%	3,000,000	8.8%	0	100.0%
資産合計	33,740,491	100.0%	34,179,700	100.0%	△ 439,209	98.7%
固定負債	11,972,095	35.5%	10,992,095	32.2%	980,000	108.9%
企業債	925,000	2.7%	1,850,000	5.4%	△ 925,000	50.0%
他会計借入金	820,217	2.4%	820,217	2.4%	0	100.0%
引当金	10,226,878	30.3%	8,321,878	24.3%	1,905,000	122.9%
流動負債	18,858,898	55.9%	19,771,273	57.8%	△ 912,375	95.4%
企業債	925,000	2.7%	925,000	2.7%	0	100.0%
引当金	11,243,000	33.3%	11,965,000	35.0%	△ 722,000	94.0%
未払金	3,688,775	10.9%	3,752,435	11.0%	△ 63,660	98.3%
未払消費税及び 地方消費税	△ 4,193	0.0%	37,192	0.1%	△ 41,385	-
その他流動負債	3,006,316	8.9%	3,091,646	9.0%	△ 85,330	97.2%
繰延収益	2,909,498	8.6%	3,416,332	10.0%	△ 506,834	85.2%
長期前受金	2,909,498	8.6%	3,416,332	10.0%	△ 506,834	85.2%
負債合計	33,740,491	100.0%	34,179,700	100.0%	△ 439,209	98.7%
資本金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資本剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
利益剰余金 （△は欠損金）	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資本合計	0	0.0%	0	0.0%	0	-
負債・資本合計	33,740,491	100.0%	34,179,700	100.0%	△ 439,209	98.7%

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

業務実績表

区分	実績					績					すう勢比率					
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
こころのセンター	延べ入院患者数（人）	99,207	100,216	96,746	81,329	69,299	100.0	101.0	97.5	82.0	69.9	100.0	101.0	97.5	82.0	69.9
	延べ外来患者数（人）	56,827	53,971	51,780	43,377	45,378	100.0	95.0	91.1	76.3	79.9	100.0	95.0	91.1	76.3	79.9
	計	156,034	154,187	148,526	124,706	114,677	100.0	98.8	95.2	79.9	73.5	100.0	98.8	95.2	79.9	73.5
一志病院	入院外来収益（千円）	2,077,495	2,080,439	2,050,436	1,773,772	1,666,078	100.0	100.1	98.7	85.4	80.2	100.0	100.1	98.7	85.4	80.2
	延べ入院患者数（人）	14,444	14,353	13,561	13,251	12,684	100.0	99.4	93.9	91.7	87.8	100.0	99.4	93.9	91.7	87.8
	延べ外来患者数（人）	19,308	19,364	18,966	18,093	17,214	100.0	100.3	98.2	93.7	89.2	100.0	100.3	98.2	93.7	89.2
志摩病院	計	33,752	33,717	32,527	31,344	29,898	100.0	99.9	96.4	92.9	88.6	100.0	99.9	96.4	92.9	88.6
	入院外来収益（千円）	535,906	560,308	539,590	545,461	529,683	100.0	104.6	100.7	101.8	98.8	100.0	104.6	100.7	101.8	98.8
	延べ入院患者数（人）	81,273	72,447	71,082	63,041	61,291	100.0	89.1	87.5	77.6	75.4	100.0	89.1	87.5	77.6	75.4
計	延べ外来患者数（人）	78,507	76,577	71,133	61,819	61,655	100.0	97.5	90.6	78.7	78.5	100.0	97.5	90.6	78.7	78.5
	計	159,780	149,024	142,215	124,860	122,946	100.0	93.3	89.0	78.1	76.9	100.0	93.3	89.0	78.1	76.9
	入院外来収益（千円）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	延べ入院患者数（人）	194,924	187,016	181,389	157,621	143,274	100.0	95.9	93.1	80.9	73.5	100.0	95.9	93.1	80.9	73.5
	延べ外来患者数（人）	154,642	149,912	141,879	123,289	124,247	100.0	96.9	91.7	79.7	80.3	100.0	96.9	91.7	79.7	80.3
	計	349,566	336,928	323,268	280,910	267,521	100.0	96.4	92.5	80.4	76.5	100.0	96.4	92.5	80.4	76.5

（注）志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、算出していない項目がある。

業務分析表

区	分	こころの医療センター			一志病院			志摩病院			備考			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	全国同規模病院(R2)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	全国同規模病院(R2)	令和元年度		令和2年度	令和3年度	全国同規模病院(R2)
		348	348	348	-	86	86	82	-	336		336	336	-
病床数・利用率	計	76.0	64.0	54.6	62.6	43.1	40.9	62.3	57.8	51.4	50.0	65.7		
	うち一般	-	-	-	-	46	46	-	236	236	236	-	病床利用率	
	うち精神	348	348	348	-	-	-	-	-	100	100	-	年延入院患者数 入院病床数	
	許可病床数(床)	76.0	64.0	54.6	63.0	-	-	-	73.4	72.5	66.3	58.4		
	病床利用率(%)	264	223	190	162	37	36	45	194	173	168	218	年延入院患者数 入院診療日数	
	1日平均患者数(人)	216	179	188	124	79	74	122	296	254	255	543	年延外来患者数 外来診療日数	
	入院外来患者比率(%)	53.5	53.3	65.5	52.7	139.9	136.5	187.4	100.1	98.1	100.6	166.8	年延外来患者数 年延入院患者数	
	医師	14.0	13.6	11.6	11.9	12.4	12.1	6.8	-	-	-	3.6	年延医師数	
	外来	7.5	7.2	7.6	6.3	17.3	16.5	12.8	-	-	-	6.0	年延外来患者数	
	看護部門職員	1.7	1.5	1.3	1.3	0.9	0.9	0.9	0.9	-	-	0.7	年延看護職員数	
収入(円)	患者1人1日あたり診療収入	0.9	0.8	0.8	0.7	1.3	1.3	1.7	-	-	-	1.2	年延外来患者数 年延看護職員数	
	入院	17,806	18,365	19,778	20,687	28,089	27,219	24,824	-	-	-	52,314	入院収益	
	外来	6,330	6,458	6,511	8,941	8,366	9,300	8,843	-	-	-	14,720	外来収益	
	医師1人1日あたり診療収入看護部門職員	295,964	295,826	277,865	303,182	491,430	498,137	282,002	-	-	-	275,365	入院外来収益 年延医師数	
費用(円)	患者1人1日あたり薬品費	604	715	682	1,095	678	547	1,454	-	-	-	3,907	入院外来収益 年延看護職員数	
	入院患者1人1日あたり給食材料費	829	887	906	346	788	792	351	-	-	-	328	薬品費(投薬注射) 年延入院外来患者数	
対医療収益率(%)	薬品費	4.0	4.6	4.2	6.1	3.0	2.3	8.9	-	-	-	12.7	患者用給食材料費 年延入院患者数	
	その他医療材料費	1.5	2.0	2.5	1.3	3.6	4.5	6.0	-	-	-	11.8	薬品費 医療収益	
	他会計繰入金	44.8	51.3	54.2	58.2	48.0	48.5	35.0	-	-	-	15.0	その他医療材料費 医療収益 他会計繰入金 医療収益	

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

2 全国同規模病院(R2)は、「令和2年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」より、こころの医療センターは「精神科病院」、一志病院は「50床以上100床未満」、志摩病院は「300床以上400床未満」の平均を引用している。(許可病床が同規模の病院と比較)

3 病床数・病床利用率の計は、療養病床・結核病床・感染症病床を含む。

4 志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、参考として記載しており、また算出していない項目がある。

令和3年度三重県公営企業会計（病院事業庁）
決算審査意見書

令和4年9月

三重県監査委員事務局
〒514-0004 津市栄町1丁目954番地
電話(059)224-2924